

令和3年度 総務常任委員会意見交換会報告書

開催日時	令和3年11月9日（火）午後6時～午後8時
開催場所	富士見市役所 全員協議会室
テーマ	富士見市の防災について
出席議員	深瀬優子委員長 根岸操委員 寺田玲委員 斉藤隆浩委員 関野兼太郎委員 山下淑子委員
参加人数	参加者6人（団体名 富士見市消防団）
実施内容	進行：関野兼太郎委員 1 開会 2 議長あいさつ（斉藤隆浩議長） 3 趣旨説明（深瀬優子委員長） 4 市議会について（深瀬優子委員長） 5 委員自己紹介・参加者自己紹介 6 意見交換 7 消防団長様あいさつ 8 委員長あいさつ（深瀬優子委員長） 9 閉会 議会事務局 本多事務局長 秦主任 大熊専門員

1 意見交換で出された意見の概要

○ 消防団の活動内容

- ・ 災害時における消防活動、催事における警備活動、各種災害想定訓練、管内警戒活動（広報）、住民に対する訓練指導、装備品の点検等、多岐にわたる。
- ・ ボランティアと非常勤特別職の地方公務員の両面をもつ特殊な役割である。
- ・ 行事、研修、訓練、各種会議等に参加し、情報・知識・技術の向上を図っている。
- ・ 女性団員の役割は、広報活動が主である。その他、消防署職員と一緒に個別訪問し住宅防火診断を行う。資格を取り、市民への救命講習にもあたる。
大火災の際、現場の後方支援として団員の食事の調達をした。

○ 活動の課題

① 消防団員のなり手不足

- ・ 自営業の方がほとんどで会社員の方はあまりいない。職場との関係が難しい。自営業の団員も減ってきている。
- ・ ご家族や職場の理解が得られず、退団する方もいる。
- ・ 活動内容が多くなっていることに対して、報酬や費用弁償が見合っていない。
- ・ 人手が足りないと、他の分団に派遣を行ったりしている。
- ・ 地域が整備され住民が増えているが、会社勤めの方が多く、地域の繋がりが希薄になっている。
- ・ 分団によっては、町会や地域との接点が無くなっている。
- ・ チラシを配布して、消防団を知ってもらう機会を作る工夫を検討している。
- ・ 少しでも関心を持ってもらえるよう、南畑では地区体育祭の昼休みに放水訓練の様子をアトラクションとして見てもらっている。また、所沢市では、消防車や子ども用の防火服・ヘルメットを活用し、子ども達へのアピールをしている。

② コロナの影響

- ・ 訓練不足や現場の経験が不足している。
- ・ 団員の親睦が図りにくい。

○ 2019年台風19号関係

- ・ 南畑公民館を避難場所として良いのか。水没する危険があるのでは。
- ・ 避難場所はどこに行っても良いのかが分からなかった。
- ・ 河川の上流（川越市等）からの情報が必要と感じた。
- ・ 避難所等では市民の方から多岐にわたる要望が寄せられ、その対応に追われた。
- ・ 消防団員に多くの市民から電話があり、その対応に追われた。
- ・ これまで消防団は災害対策本部に入っていなかったが、経験を活かし団長などが災害対策本部に入る体制へと変更された。
- ・ 車が水没する前に避難させたいという方が多かった。

○ ハザードマップについて

- ・ 災害時の優先車両が通行できる災害時優先道路の記載があるとよい。
- ・ 水没する道路を分かりやすく掲載した方がよい。
- ・ どこの避難所に行っても良いことを分かりやすく記載した方がよい。

○ 要望

- ・ 従業員を消防団に入れると企業側にメリットがある制度を作った方がいいと思う。例えば市民法人税を安くする等。消防団員として人を出す側に何か特典があると、見方が変わってくると思う。
- ・ 以前は、各小学校でボランティアを学ぶ機会があり、消防団も招いてもらっていた。教育委員会側からアプローチして欲しい。
- ・ 学校のプールを使っただけの訓練をやらせて欲しい。
- ・ 東大久保の消防団に救助用のボートが欲しい。
- ・ 市との連携を密にして欲しい。
- ・ 消防団に入りたい場合の相談体制を整備して欲しい。
- ・ 有事における水門の開閉の操作担当を明確にして欲しい。
- ・ 水災害時における消防団の役割分担を市と協議したい。

2 まとめ

富士見市消防団の「自らの地域は自らが守る」という郷土愛護精神に基づいた活動報告を聞くことができた。しかし、現場での団員不足は喫緊の課題と感じた。また、ハザードマップに緊急時の優先道路の記載や、消防団を招いての「防災教育」をしていただきたいとの要望もあった。現状の改善に向けては、地域や企業の理解と協力も必要である。総務常任委員会としても、貴重な意見を今後の活動に活かしていきたい。

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。

発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。